

すいた市民環境会議

1997年 6月 創刊号

ふ き た さ と
吹田の郷

◆発行/すいた市民環境会議◆代表/小田忠文◆事務所/564吹田市内本町2-18-8◆☎319-0630 小田 (18時以降)◆年会費1000円

吹田市民環境会議設立集会 1997年3月15日(土)

☆場所/メイシアター集会室 ☆参加者数/93名 ☆入会申込み/102名(4月12日現在)



◎ 岸田吹田市長を始め、徳森吹田市議会副議長より、あたたかい励ましのご挨拶をいただきました。

環境問題、自然・歴史・文化の保全、創成を考える市民組織

【すいた市民環境会議】入会受付中

◎ 郵便振り込み用紙をご利用ください。

◎ お問い合わせ 小田 信子 ☎06-319-0630 (18時~22時)

一昔前の環境問題とは大気汚染・騒音などの「公害」が中心話題でした。最近では、快適な暮らし（アメニティ）を考えるようになっていきます。

しかし全国的には環境問題はまだ「開発vs保存」或いは「開発vs自然」が中心です。そして環境運動は、行政が施策を発表した段階では時すでに遅く、行政は「予算がついた開発は何がなんでも遂行する」住民は「断固反対」というパターンの繰り返しでありました。

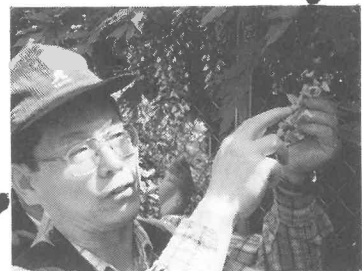
「施策の計画段階で市民と行政そして事業者も含め話しあっていく」このようにして私たちの住みやすい、また故郷として自慢できる吹田を作っていきたいと思っています。私たちの住む吹田は私たちの手でよりよく変えましょう。「このままでは吹田はどうなるか」と、案ずるだけでなく共に一歩踏み出しましょう。

なによりも市民一人一人の参加と応援が必要です。「対立から協調」へ、「与えられることより参画へ」と変わっていく時代です。そして楽しく、息長く行動しましょう。

環境ウォッチング（全行程4 kmほど）

◇1997. 4. 26（土） 晴天 18人でウォッチング

岸辺駅→旧国鉄操車場跡地→旧岸部村町並み→吉志部神社
→紫金山公園→市場池→七尾瓦窯跡→岸辺駅



豆科植物の授受粉戦術は...

JR岸辺駅北側(旧吹田操車場跡地)

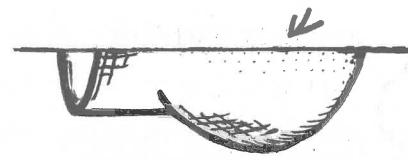
長い地下道



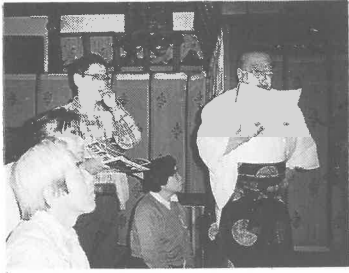
岸辺駅前集合



足をのばして…コシアカツバメの巣を観察



紫金山公園



吉志部神社本殿見学



ユーカリの大樹

七尾瓦窯跡

市場池オアシス公園視察



クスノキの大樹



楽しい昼食&野鳥のお話し



中西家は400年の歴史のある旧家



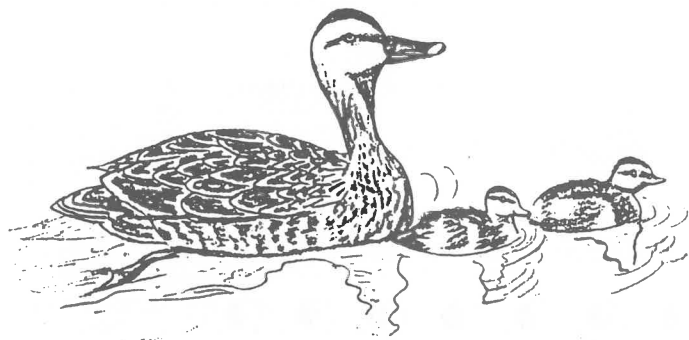
つつじは…

農業会館前

《吹田市の鳥 no.1》

カルガモ (ガンカモ科)

“近づかないで野鳥の巣”



皇居への引っ越しで有名になったカルガモの親子の行列を吹田市内で見られる事を知っていますか
雌雄同色で、市内の公園の池や農業用ため池、安威川などの水辺で観察できるカモです。

カルガモはスズメと同じように留鳥で一年中同じ所に住んでいます。普通一つがいで10羽ほどの雛が誕生。(昨年6月万博公園では9羽の雛が生まれました) 恐いもの知らずにかけてに動き回る雛たちを連れ、安全に餌のある所に移動するときの親の真剣な表情を見ると、自分の子育てを思い出すことがあります。

平 軍二

入会者氏名 (敬称略) 会員数 97. 4. 12 現在 102人

秋山こずえ	浅田都司男	熱田 克子	阿部 誠行	有田 亮一	日外 利明
五十嵐真美	池上 慶子	池澤 悦子	石田富佐吉	石田ミサエ	稲波 誠
岩溪 恭子	上口 勝	植村 博子	馬垣 安芳	梅田 茂	卜部 弘信
榎原 貞子	大越 良子	大田 幸子	岡 和子	岡田 篤司	岡村 昇二
奥 朋子	奥田 倫子	御輿久美子	小田 忠文	小田 信子	越智 清光
笠岡 英次	加藤 恵子	加藤 俊二	亀田 敏晴	川勝 晴美	川口 実
喜田久美子	木田 祐子	北尾賀永子	木南美恵子	木原 治子	木村 雅英
清金 慎治	草野 弘靖	国田三紗子	黒沢 孝	黒田 悦三	黒田浩一郎
黒田 能弘	小林 勝則	小室 巧	斎藤 伸吉	坂口 善雄	佐藤 和子
柴山 瑞代	菅原 節子	鈴木たつ江	高井 治子	高橋悠美子	高畠耕一郎
田口 実	武田ゆき子	田中 一子	田中 豊	千代延明憲	出原 正道
寺尾 恵子	寺西由美子	土志田新八	中務 正裕	中土 康雄	中村小夜子
西尾 熱子	西形 方良	西川 整子	萩原 元治	橋本 徹也	長谷川達海
平 軍二	平野寿美子	広岡美奈子	広村 知幸	藤村 修	古谷 啓伸
本田 昌子	牧野 信元	松岡 要三	松本 宗成	水川 晶子	宮脇 一彦
村上美智子	村田 好子	邑本 恵子	室之園 隆	本 則夫	本山紀美子
山田 國廣	山根 一男	由上 勇	湯の口佐和子	横沼 郁恵	吉村 哲彦

◆「緑の基本計画・中間まとめ・意見を聞く会」(4/12 吹田市主催)にて発表したもの ◆

すいた市民環境会議幹事会にて話し合ったものを発表

▲緑被率をもっと多く・吹田の自生種を植えてほしい。▲緑のマップ(古木・巨木を含む)、生き物(昆虫など)マップの作成、標識の作成などを市民参画でしてほしい▲絵に描いた緑と生きている緑の違いを子供の時から、また小さな子供の親たちに理解し、わかってもらおう努力をしてほしい。▲公園の枝切りや、落ち葉の有効利用をしてほしい。公園での農業散布を少しでも減らすための努力をしてほしい。▲人間の利便性ばかりを追求してはいけない時代になっている。対立した考えでなくその計画の中でどうすれば緑を残し、生態系を維持できるのか考え、歩み寄りのできる点をさがす努力をしてほしい。▲緑に水は欠かせないものである。暗渠にしてしまった小川を取り戻すことはできないか。緑と水があれば生態系はかなり複雑になれる。水棲植物の復元も努力してほしい。川を改修するまでとても年数がかかるのだからそれまでの間、川の中によどみを作り、水棲植物を植え水棲の生き物の種が増えるための努力をしてほしい。

▲情報公開をしてほしい。環境アセスメントの条例を早急に作ってほしい。その際、環境基本条例のようにできてしまって議会にはかるところで市民に発表するのではなく、この意見を聞く会のように作成途中で意見を聞き、反映させてほしい。住民の意見を述べられる場を作してほしい。

▲操車場跡地の利用問題。吹田市南部は公園が少なく緑が少ない。公園というより樹林帯にならないか。トラクターミナルの話が再浮上しているが排ガス、振動、交通事故など心配がある。▲固定資産税・相続税・宅地なみ課税のため緑地帯がどんどん開発されてしまっている。保存林、保存樹等も含め固定資産税・相続税等の軽減、保存の補助、助成などをしてほしい。

▲緑のことを考えれば街づくりに通じていく。市民対象の街づくり講座のようなことを通して市民が考える基礎を作してほしい。▲緑だけでなく吹田の街をどうするのか街全体をどうしたいのか考え、その中で緑をどう考えるかが伝わらない。これは市役所内で緑を考える部署と、そうでない部署との連携が出来ず市民にとって混乱とイライラの原因になる。

すいた市民環境会議規約

- 第一条 [名称] 本会は「すいた市民環境会議」という。
- 第二条 [目的] 本会は吹田市内の環境について、心に潤いとゆとりを持てるような街づくりを考え身近な自然環境・歴史的文化的環境・生活環境などの保全、回復、創成などを行う。
- 第三条 [会員] 本会の構成員は、前条の目的に賛同し、原則として吹田市民あるいは吹田市内に勤務する個人とする。
- 第四条 [活動] 第二条の目的を達成するために必要に応じ、市民や行政、企業と協力し、活動する。但し、宗教活動や政党活動は行わない。
- 第五条 [運営費用] 本会の運営と活動は会費と寄付により行う。会員は、年会費を納入しなければならない。年会費1000円とする。
- 第六条 [総会] 総会をもって最高決議機関とする。原則として総会は年一回開催される。但し、幹事会が必要と認めたとき、または、会員の5分の1以上の要求があるときには、会長は臨時総会を開くものとする。総会は、会員の5分の1以上の出席で成立するものとする。但し、委任状を表示したものは出席者とみなす。総会の議決は、出席者の過半数の賛成によって決定する。
- 第七条 [役員] 次の役員をおく。幹事 若干名。会長、副会長、会計、事務局は幹事の互選による。役員任期は、1年とし再任は妨げない。幹事会で日常業務を行う。議事は出席者の過半数の賛成によって決定する。
- 第八条 [規約の変更] 規約の変更は、総会出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。
- [付則] この規約は1997年4月12日をもって施行する。尚、事務局は当面事務局員の自宅におく。
-

吹田の郷(ふきたのさと)について

「吹田」は、その昔「水の盛んに吹き出る田」の意味から「フキタ」と呼ばれたと言われています。旧吹田村内には、自然の湧水・湿田が多く、特に現、泉町・金田町・南金田・南吹田一帯は深田が多い所で、このあたりをさして「フキタ」とよんだようです。いつの頃からか音読して「スイタ」とよばれ、中世には「水田」の字をあてるが多かったようです。これも湿田の多い吹田にふさわしい用字であり、吹田付近の地形に着目した興味深い説から自然をとりもどす意味をこめ、題字に「吹田の郷(ふきたのさと)」と名付けました。



エノキは氷河期のころからあった古い木で日本から東アジアにかけて広く分布。江戸時代に1里塚として街道沿いに植えられ旅人に緑陰を好まれ（榎の字のおこり）吹田でも旧街道（亀岡・吹田など）沿いに今でも見られ、江の木、江坂の地名も縁がありそうです。

「エノキの一人言」-----片山浄水場向いの崖の斜面に立っています。昔は辺り一面に狸狐が住み、夜は人気のない淋しい峠道でした。最近すぐ横にマンションが建ち、私もそのうち切られるのでは、と心配です。

浅田 都司男

《藤が丘町のエノキ》



◆胸高幹廻り---3m 樹高---15m◆

— 《シリーズ環境への取り組み・こだわり》 —

旧庄屋屋敷保存活用会

J Rの南にある内本町界限にはまだ歴史的町並みの雰囲気が残っています。その中に旧仙洞御料庄屋屋敷（西尾邸）があります。約 100年前に立て替えられたこの西尾邸の主屋は江戸時代の仙洞御料庄屋屋敷としての雰囲気を残すものです。しかし西尾邸は相続税の問題で物納が決まりました。このままでは更地にされ開発されてしまいます。

吹田の歴史の一つとしての西尾邸を保存し、市民に開かれた施設（メイシアターの分室的なもの）として利用したいとの思いから旧庄屋屋敷保存活用会が発足し、吹田市に保存を依頼する署名を集め市長に提出したり、多くの人に西尾邸の現状を知ってもらいたいと種々のイベントをしています。昨年催された座敷での能楽は好評でした。他に語りの会やコンサートも開催しています。現在会員募集中です。

連絡先 吹田市内本町15-11 西尾邸内 ☎381-7311

◎ お知らせ

幹事会 6月21日（市民会館第4会議室）／7月19日（市民会館）／8月（未定）
pm1:30~4:00

今後の活動 6月14日 すいた環境教育フェアに参加・メイシアター am10:00~pm4:00

8月 行政との話し合い（日・場所未定）

11月30日 滋賀県琵琶湖水博物館へバス見学



一昔前の環境問題とは大気汚染・騒音などの「公害」が中心話題でした。最近、快適な暮らし（アメニティ）を考えるようになっていきます。

しかし全国的には環境問題は「開発vs保存」或いは「開発vs自然」が中心です。そして環境運動は、行政が施策を発表した段階では時すでに遅く、行政は「予算がついた開発は何かなんでも遂行する」住民は「断固反対」というパターンの繰り返しでありました。

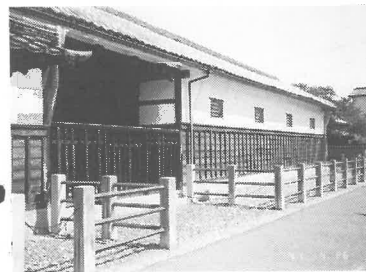
「施策の計画段階で市民と行政そして事業者も含め話しあっていく」このようにして私たちの住みやすい、また故郷として自慢できる吹田を作っていきたいと思っています。私たちの住む吹田は私たちの手でよりよく変えましょう。「このままでは吹田はどうなるか」と、案ずるだけでなく共に一歩踏み出しましょう。

なによりも市民一人一人の参加と応援が必要です。「対立から協調」へ、「与えられることより参画へ」と変わっていく時代です。そして楽しく、息長く行動しましょう。

環境ウォッチング (全行程4 kmほど)

◇1997. 4. 26 (土) 晴天 18人でウォッチング

岸辺駅→旧国鉄操車場跡地→旧岸部村町並み→吉志部神社
→紫金山公園→市場池→七尾瓦窯跡→岸辺駅



中西家は400年の歴史のある旧家



つつじは... 農業会館前



豆科植物の授受粉戦術は...

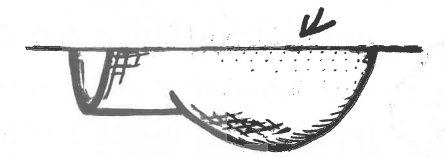


長い地下道



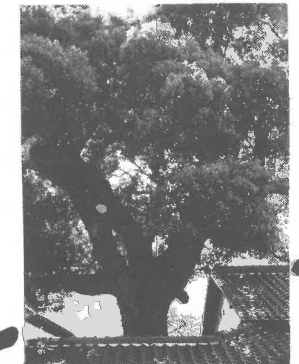
岸辺駅前集合

足をのばして...コシアカツバメの巣を観察



七尾瓦窯跡

市場池オアシス公園視察



クスノキの大樹

紫金山公園



吉志部神社本殿見学



楽しい昼食&野鳥のお話し

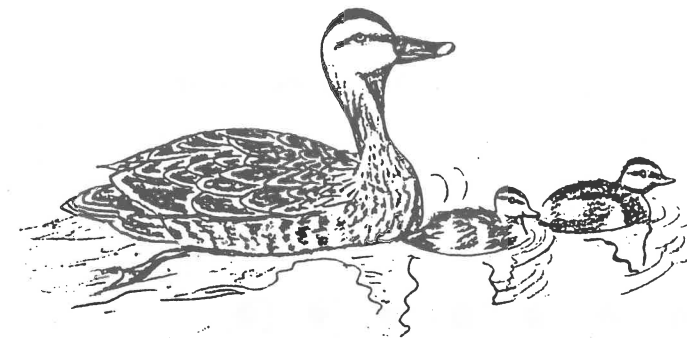


ユーカリの大樹

《吹田市の鳥 no.1》

カルガモ (ガンカモ科)

“近づかないで野鳥の巣”



皇居への引っ越しで有名になったカルガモの親子の行列を吹田市内で見られる事を知っていますか。雌雄同色で、市内の公園の池や農業用ため池、安威川などの水辺で観察できるカモです。

カルガモはスズメと同じように留鳥で一年中同じ所に住んでいます。普通一つがいで10羽ほどの雛が誕生。(昨年6月万博公園では9羽の雛が生まれました) 怖いもの知らずにかけてに動き回る雛たちを連れ、安全に餌のある所に移動するときの親の真剣な表情を見ると、自分の子育てを思い出すことがあります。

平 軍二